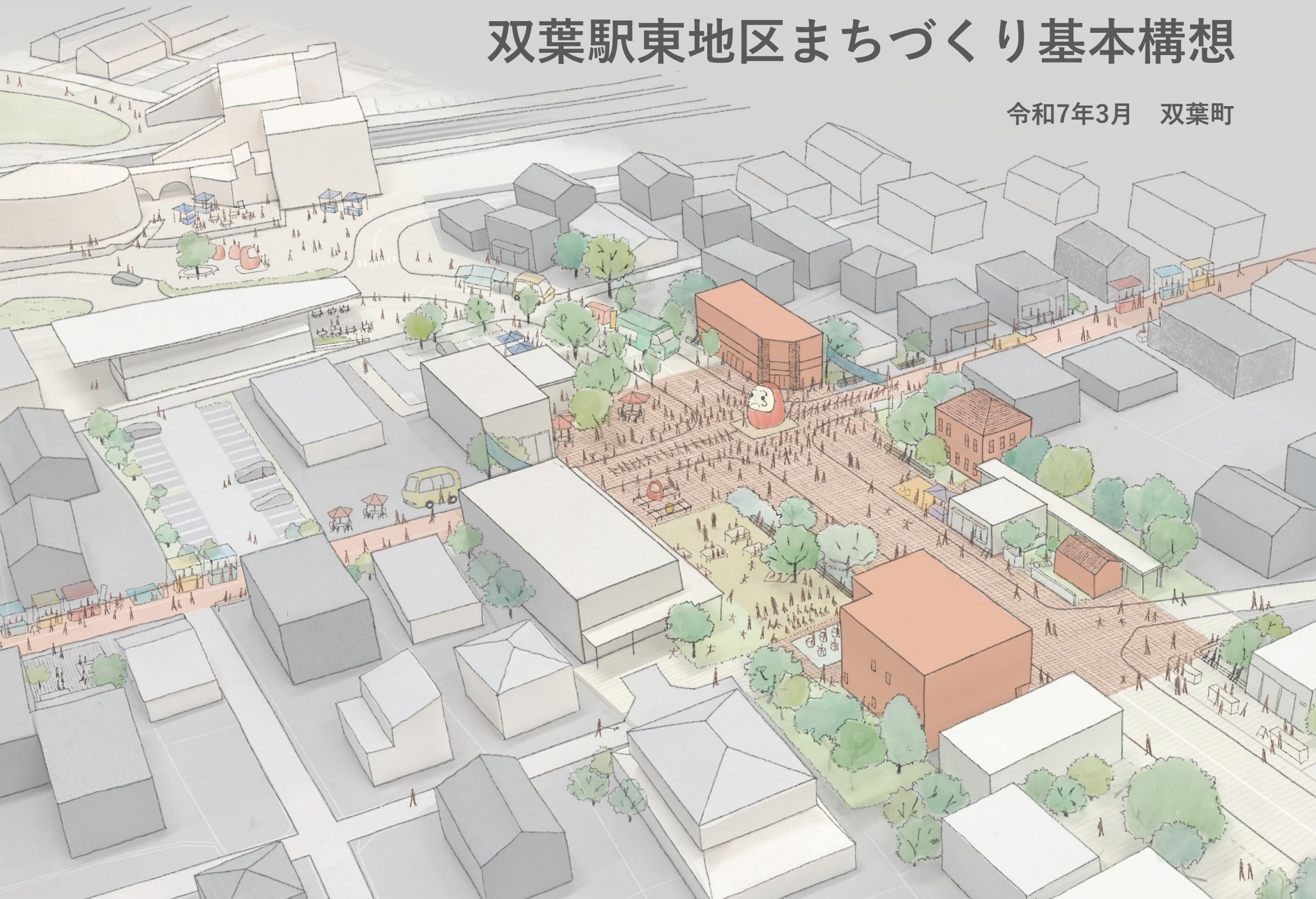


双葉駅東地区まちづくり基本構想

令和7年3月 双葉町



目次

1. 駅東地区まちづくり基本構想とは

- (1) 駅東地区まちづくり基本構想の背景・位置づけ 3
- (2) 駅東地区まちづくり基本構想の検討経緯 3

2. 駅東地区の現状と課題

- (1) 駅東地区の現状 5
- (2) 駅東地区の課題 6
- (3) まちづくりにおける駅東地区の位置づけ 6

3. 駅東地区の将来ビジョン

- (1) 将来ビジョン・デザイン戦略の必要性 8
- (2) 駅東地区の将来ビジョンのコンセプト 8
- (3) 駅東地区の将来ビジョン 9
 - (3) -①広域における駅東地区の位置づけ 9
 - (3) -②戦略的重点エリアの設定 9
 - (3) -③駅東地区のまちづくりの考え方 10

4. 駅東地区のデザイン戦略

- (1) 戦略的重点エリア①：駅前・駅前通り周辺エリア 13
- (2) 戦略的重点エリア②：旧国道・町民グラウンド周辺エリア 14
- (3) 戦略的重点エリア③：新山エリア 15
- (4) 戦略的重点エリアにおける駅前通りのデザイン方針 16
 - (4) -①駅前通りのデザイン方針（案） 16
 - (4) -②駅前・駅前通り周辺の公共サイン・屋外広告物のデザイン方針（案） 18

5. 今後に向けて

- (1) 駅東地区まちづくり基本構想（素案）に関する住民意向把握の結果 20
- (2) 今後に向けた検討課題 21
- (3) 優先して事業化すべき整備項目の実現化方策の整理 22
- (4) 今後のスケジュール 24
 - (4) -①事業スケジュール（案） 24
 - (4) -②計画検討スケジュール 25

1

駅東地区まちづくり基本構想とは

(1) 駅東地区まちづくり基本構想の背景・位置づけ

- 駅東地区まちづくり基本構想（本構想）の主な対象地である双葉駅東地区（駅東地区）は、町民の意向を反映して令和4年6月に策定された「双葉町復興まちづくり計画（第三次）」において、住民主導による街並み形成エリアとして、既存ストックや空地の有効活用を推進する「まちなか再生ゾーン」に位置しています。
- その中でも駅東地区は、商業を中心とした賑わいを形成するエリアとして、にぎわい再興に向けて公共施設や町有地などを活用しながら、「住みやすいまち」「働きやすいまち」を順次拡大していくエリアと位置付けられています。
- 本構想は、以上の上位計画で示された駅東地区の位置づけに基づき、官民の各事業が連携して実現を目指す駅東地区の将来ビジョンとデザイン戦略を示したものです。
- 本構想は、令和7年度以降の双葉駅東地区事業計画（案）と連携し、復興まちづくりを先導する具体の公共事業や、民間開発の指針となるとともに、「（仮称）双葉町復興まちづくり計画（第四次）」に反映される予定です。

双葉町復興まちづくり計画（第三次） （令和4年度～8年度：5か年）

駅東地区の位置づけ

- まちなか再生ゾーン
- 賑わいを形成するエリア

↓位置づけ

駅東地区まちづくり基本構想 （令和6年度策定）

官民の各事業が連携して実現を目指す、駅東地区の将来ビジョンとデザイン戦略を示す

（仮称） 双葉町復興まちづくり計画 （第四次）

反映

指針

- 令和7年度以降策定の双葉駅東地区事業計画（案）と連携
- 復興まちづくりを先導する具体の公共事業や民間開発の指針

駅東地区まちづくり基本構想の位置づけ

(2) 駅東地区まちづくり基本構想の検討経緯

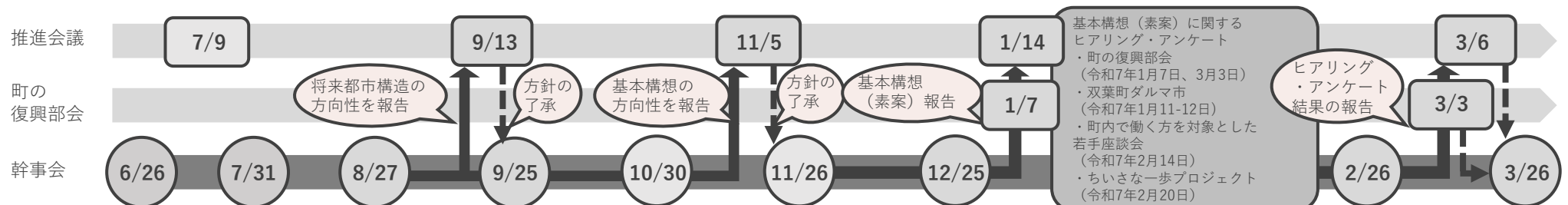
- 本構想は、令和5年度までの協議をもとに、まちづくり全般や個別事業を担当する各課から選出された双葉町職員による「幹事会」にて、ワークショップ形式の協議を重ねて素案を作成したものです。
- 幹事会での検討内容は庁内の「双葉町復興まちづくり計画推進会議」（推進会議）に報告され、その助言・指示を受けながら検討されました。また同じく有識者、まちづくりの関係者で構成される「町の復興部会」にも報告され、助言を受けながら検討されました。
- 素案について、町内で働く方を対象とした若手座談会やダルマ市での展示等を通して住民の皆さんの意見をお伺いし、その内容を反映して本構想が策定されました。



幹事会での議論の様子（令和6年8月27日）



ダルマ市での説明の様子（令和7年1月11-12日）



駅東地区基本構想の方針検討

- 情報プラットフォーム図・ロードマップ更新
- 土地活用の配置計画の検討（にぎわい／すまい）
- 戦略的重点エリア抽出・デザイン方針検討（案）

駅東地区基本構想（素案）の検討

- 戦略的重点エリアの設定
- 駅前通り周辺およびサインのデザイン方針（案）

駅東地区まちづくり基本構想取りまとめ

- 基本構想（素案）に関するヒアリング・アンケートの実施と反映
- 基本構想に基づく事業化手法の検討
- 今後の進め方について

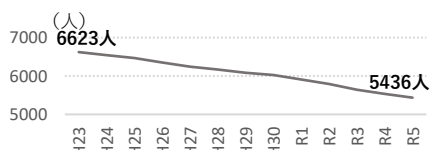
2

駅東地区の現状と課題

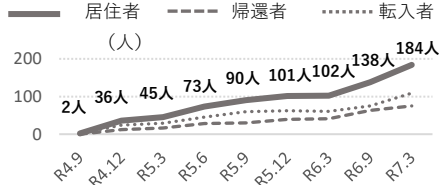
(1) 駅東地区の現状

- 令和2（2020）年3月4日、双葉町の避難指示解除準備区域及びJR双葉駅周辺等の一部区域についての避難指示が解除されました。
- 令和4（2022）年8月30日、双葉町でJR常磐線・双葉駅を中心とする特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。
- 避難指示解除後、双葉駅や双葉町役場、駅西住宅および中野地区復興産業拠点の整備が進み、双葉駅周辺と中野地区復興産業拠点等を中心に公共事業が進展しています。今後双葉駅周辺を中心に公共施設の整備が進んでいく予定です。

■双葉町の人口推移
(出典：双葉町HP)

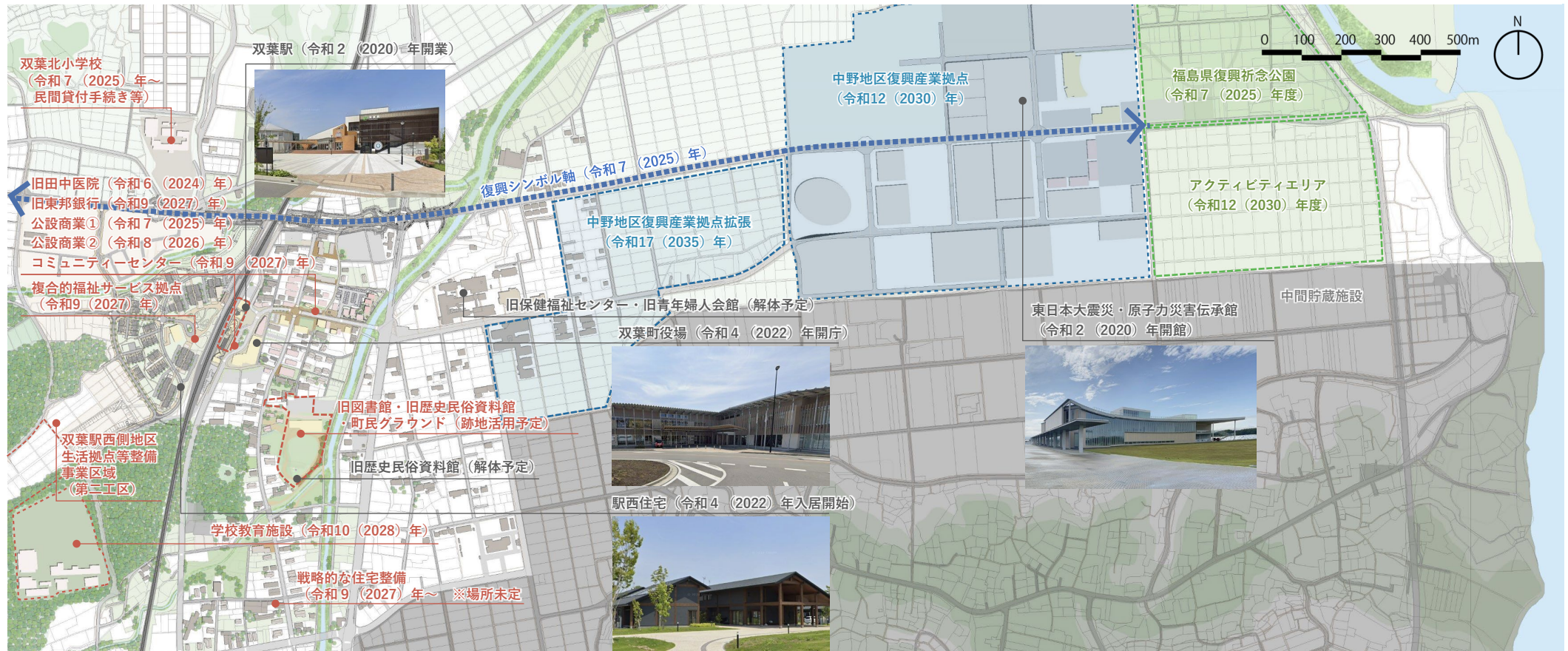


■双葉町の町内人口推移 (出典:数字で分かる双葉町)



■震災後の主な出来事

年	出来事
平成23（2011）年	東日本大震災が発生。福島第一原子力発電所から半径20km圏内の警戒区域設定
平成25（2013）年	警戒区域が解除され、避難指示解除準備区域および帰還困難区域に再編
令和2（2020）年	避難指示解除準備区域及びJR双葉駅周辺等の一部区域についての避難指示が解除 双葉駅開業、東日本大震災・原子力災害伝承館、福島県復興祈念公園開所、復興シンボル軸一部開通
令和4（2022）年	特定復興再生拠点区域の避難指示解除。双葉町役場開庁、駅西住宅入居開始



駅東地区とその周辺で進行中の公共事業

(2) 駅東地区の課題

① 駅東地区のビジョンの策定と拠点性の強化

- 復興まちづくり計画（第四次）の策定に向け、今後、公共・商業機能の集積が進み、居住機能の拡充が期待される駅東地区において、復興まちづくりを推進するビジョンの策定と、拠点性の強化が求められています。

② 復興の段階に合わせた都市サービス機能の連携と集中／再配置

- 駅西を含めた双葉駅周辺に今後整備予定の公共・商業機能の機能分担・連携を、復興の各段階のニーズに対応するかたちで柔軟に図っていく必要があります。
- 復興後の地域住民の生活環境の充実に向け、交通計画の検討や綿密な事業間連携が求められます。（例：駐車場配置、学校教育施設／通学路／住宅地など）

③ 住宅供給の推進

- 多様な世帯の住宅ニーズの高まりに対応できるよう、駅西住宅整備に続く、駅東地区での住宅供給の推進に向け、公営住宅整備や、民間の住宅開発に向けた基盤整備等を進める必要があります。

④ 土地流動化の推進

- 商業、住宅の民間開発を進め、駅東地区の市街地の密度を高めるため、土地流動化の支援策を検討する必要があります。

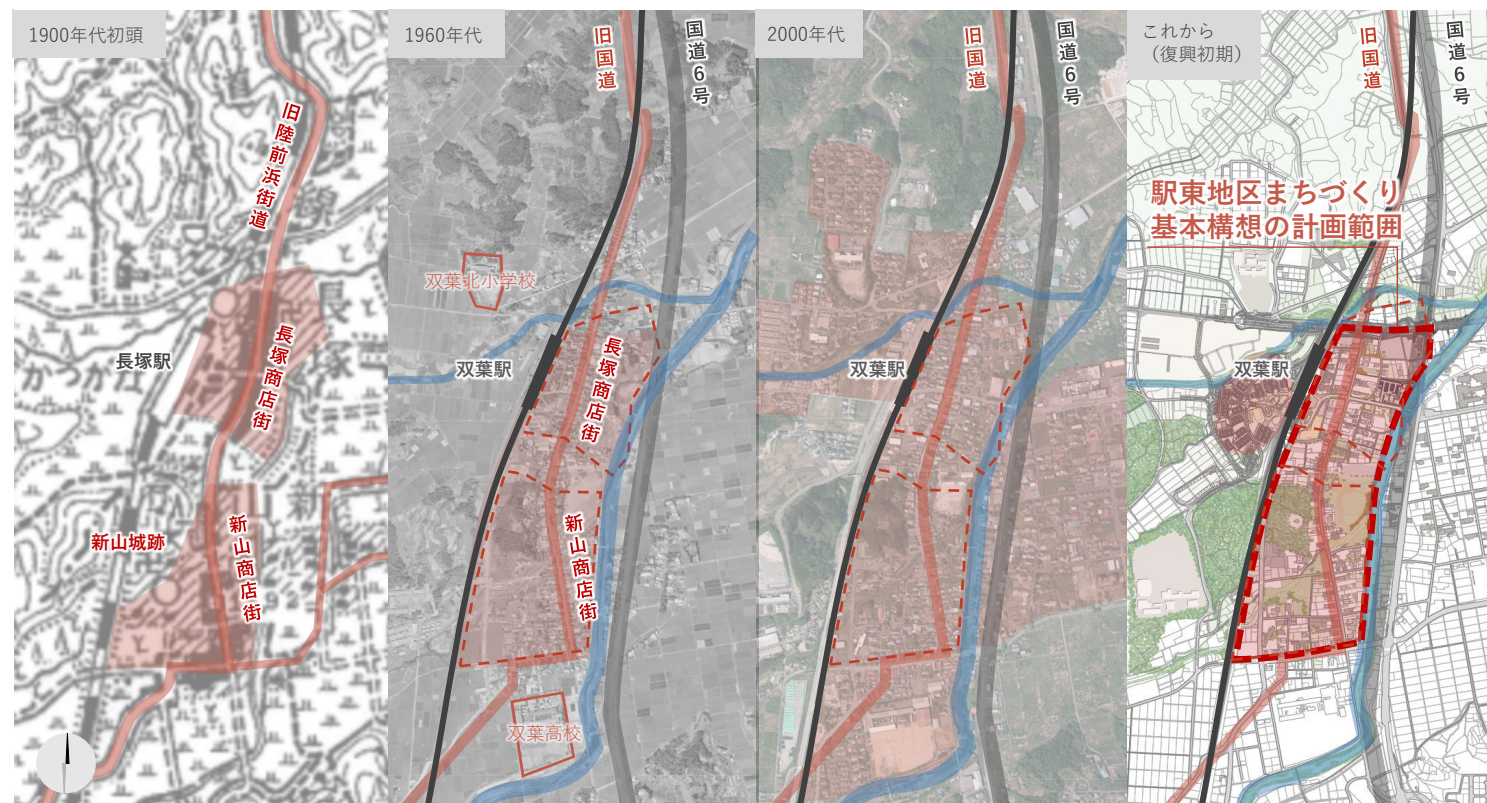
⑤ 地域資源の活用

- 神社・石碑や河川・台地の緑等、歴史資源や自然資源をいかした魅力的な拠点整備を進め、民間開発の機運醸成につなげていく必要があります。

(3) まちづくりにおける 駅東地区の位置づけ

- 駅東地区まちづくり基本構想の計画範囲は、陸前浜街道沿いの宿場町を起源とする長塚商店街・新山商店街を中心とする、原子力発電所立地による人口増・市街地拡大以前（1960年代まで）の主要な市街地範囲と重なります。これは、ダルマ市や新山秋市等、双葉町を代表する祭事・行事が開催されてきたエリアでもあります。
- 町として、戦略的に駅東地区の土地の流動化を推進し、双葉町の歴史的な中心地である駅東地区の再生をはかることを目指します。

駅東地区まちづくり基本構想の計画範囲
≒ 1960年代以前の主要な市街地範囲



1900年代初頭から現在までの市街地範囲の変遷（出典：国土地理院地図・空中写真閲覧サービス）

概ねの市街地範囲

3

駅東地区の将来ビジョン

(1) 将来ビジョン・デザイン戦略の必要性

- 全国的に公共事業・公民連携をとまなうまちづくりにおいて、将来ビジョン、デザイン戦略の策定事例が増加しています。ビジョンと戦略性の導入は社会資本整備の効果を最大化する一方で、ビジョンが総花的で具体性に欠けたり、戦略が未熟な場合、公共投資の成果が出ない恐れがあります。
- 双葉町においても、2(2) 駅東地区の課題の解決に向けて、既存あるいは今後公共事業により整備される多数の公共施設機能の連携、および復興プロセスの各段階で目標と関連付けた計画検討を行い、その結果をビジョンとして打ち出すことができれば、公共投資効果の向上や、民間開発の機運醸成につながる可能性が高まります。
- その際には、駅東地区のみならず沿岸で進む開発を含めた双葉町全体の復興まちづくりを踏まえた駅東地区の位置づけを明確にし、具体的な内容を伴うビジョンと戦略を策定する必要があります。

(2) 駅東地区の将来ビジョンのコンセプト

駅東地区将来ビジョンのコンセプト

双葉町の生活文化を継承し復興をけん引する、生活機能が充実したまちの拠点づくり

ステップによる段階的まちづくり

駅東地区では、多様な事業主体の連携を取りつつ復興の各段階のニーズの変化に柔軟に対応しながら、双葉町の復興をけん引する拠点づくりを進めていく必要があります。

下記のステップを想定しながら、3つのまちづくりの基本方針に即したまちづくりを推進していきます。

ステップ1：生活機能が充実・連携したまちの拠点づくり

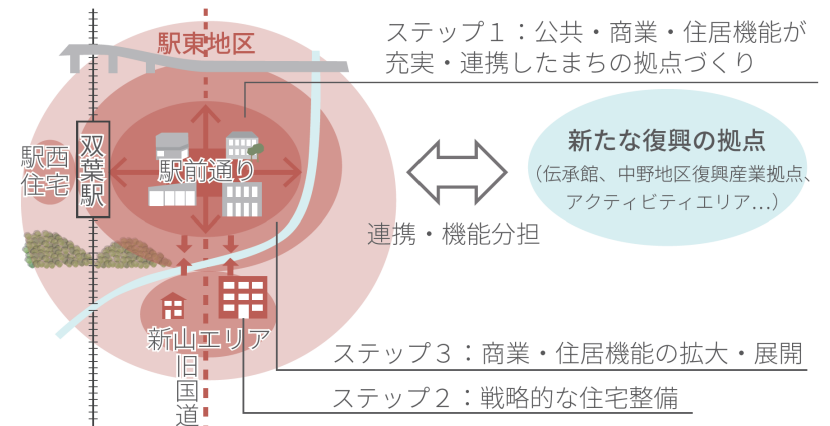
→戦略的重点エリア①【駅前・駅前通り周辺エリア】

ステップ2：戦略的な住宅整備の展開

→戦略的重点エリア③【新山エリア】

ステップ3：民間開発を含めた商業・住居機能の拡大・展開

→戦略的重点エリア②【旧国道・町民グラウンド周辺エリア】



駅東地区のまちづくりの基本方針①

生活機能の充実と交通の再編による歩いて暮らせるまちづくり

駅前・駅前通りへの戦略的・集中的な公共事業と、民間事業の展開による生活機能（公共・商業・住居）の充実、および車両交通計画・駐車場配置などの交通再編により、駅東地区に歩行者中心の歩いて暮らしやすいまちの拠点をつくります。

駅東地区のまちづくりの基本方針②

復興の各段階のニーズの変化に対応するまちづくり

復興の各段階の人口規模に求められる生活機能の変化に対応し、公共施設の再配置や民間開発の誘導を行い、柔軟な復興の拠点づくりを進めるとともに、新たな復興の拠点との連携をはかっていきます。

駅東地区のまちづくりの基本方針③

双葉町の生活文化を継承し、町への愛着や誇りを育てるまちづくり

双葉町の生活文化の面影や、自然・歴史資源をいかした広場・遊歩道の整備、帰還住民、移住者、来訪者が日常的に交流できる施設、機会の充実により、復興に向けて、町や人への興味や愛着を持って住み続けたいまちづくりを進めます。

(3) 一③ 駅東地区のまちづくりの考え方



駅東地区における交通計画に向けた各街路・駐車場の役割の整理（整備内容や配置などは変更の可能性があります。）

■分野別の考え方

交通	駅前・駅前通り周辺は歩行者中心のまちづくりを進めます。 駅東地区外からの車両動線はエリア外縁部のゲート駐車場で処理します。駅前・駅前通り周辺にはまちなか駐車場を設置し、最低限の駐車スペースを確保します。
公共施設	駅前・駅前通り周辺のにぎわいに寄与するため公共施設機能を集約し、機能分担・連携を図ります。
商業	駅前通りの公設商業施設を拠点に、駅前・駅前通り周辺、旧国道沿いに商業施設を誘導します。
居住	各エリアの周辺環境をいかし復興の各段階やライフスタイルによる多様なニーズに応える良質な居住環境を創出します。
地域資源	散歩や通勤通学等で利用される道に、地域資源をいかした広場や遊歩道を整備し、日常的に親しめるようにします。

■交通計画に向けた各街路・駐車場の役割の整理

- ←→ まちの拠点を構成する街路（駅前通り・旧国道一部）
車両通行を最小限に抑え、商業や職住近接の住宅が集積する歩行者中心の通りとします。
- ←...→ 駅東・駅西をつなぐ周遊動線（通学路・散歩道）
地域資源をつなぐ回遊ルートを設定し、子どもや高齢者が歩く通学路・散歩道として歩きやすく安全な道を整備します。
- ←---→ まちなかの回遊性を高める街路
来訪者がまちを訪れる玄関となる道として、ゲート駐車場とまちなか駐車場をつなぐ歩きやすい道を整備します。
- ←---→ 住宅開発を支える区画道路
公営住宅整備、民間住宅開発を促進するため、区画道路の再整備を検討します。
- ←...→ 広域一般車両動線
町外からの一般車両動線として位置付けます。
- ←---→ 一般車両アクセス動線
広域一般車両動線からゲート駐車場までのアクセス動線として位置付けます。
- ゲート駐車場（案）
町の玄関口となる駐車場の整備と、駐車場からまちなかへのアクセス強化を検討します。
【主な利用者（想定）】町外からの来訪者、町内の住民、沿道施設の従業員
- ★ まちなか駐車場（整備予定）
駅前通りの施設利用者向けの駐車場として、歩行者中心のまちづくりに資するよう台数は最小限とし、緑化等で修景に努めます。
【主な利用者（想定）】駅前通りの施設利用者、駅前通り・旧国道沿道住民

■公共施設の機能分担・連携の考え方

- ・復興の段階ごとの人口規模や求められる公共機能の変化に応じて、可変性を持った公共施設の配置計画とします。
- ・復興初期は、人口規模に応じた複合的な公共機能を駅前・駅前通り周辺に集約整備し、まちの拠点を形成し復興をけん引することを目指します。
- ・将来的な人口増加により独立した公共機能が必要になった段階で、公共機能の一部移転を検討します。

ステップ1：生活機能が充実・連携したまちの拠点づくり

ステップ2：戦略的な住宅整備の展開

ステップ3：民間開発を含めた商業・住居機能の拡大・展開

駅前・駅前通り周辺の
公共・商業施設

複合的な公共機能を集約整備し、まちの拠点を形成し復興をけん引する

交流等の一部機能のまちの拠点での存続

その他のエリアの
公共・商業施設

独立した公共機能を有する公共施設の再整備・移転

※上記の可変性を考慮した担い手の体制検討をする。

例) まちの拠点となる駅前・駅前通り周辺の公共施設・民間施設の機能分担・連携のイメージ

- ・町民／観光客／インキュベーション（起業・事業創出の支援）施設を利用する事業者・大学生を主なターゲットに、公共施設の機能分担・連携を図ります。



駅前・駅前通り周辺エリアにおける公共施設の機能分担のイメージ

4

駅東地区のデザイン戦略
(戦略的重点エリア)

(3) 戦略的重点エリア①：駅前・駅前通り周辺エリア

住民の皆様や民間事業者との意見交換を通して、内容を調整しながら実現していきたい将来ビジョンの案です。内容は変更の可能性があります。

駅前・駅前通り周辺エリア

公共施設が集積する駅前と賑わい再生軸である駅前通りを中心に、商業・公共・居住機能の導入、街路整備の連携により、歩行者中心の出歩きたくなるまちづくりとにぎわい創出を進めていくエリア

駅前通り周辺のまちの拠点づくり

- 1 駅前通りを歩行者中心の街路へ再整備
- 2 駅前通りに開いた公共施設・滞留空間の整備
- 3 旧三宮堂田中医院と連携したポケットパーク（小広場）の整備
- 4 子育て・文化交流の拠点となる公共施設の整備
- 5 旧国道の修景整備

駐車場の再編と区画道路の再整備

- 6 歩行者中心のエリアの外縁部にまちなか駐車場・ゲート駐車場を整備
- 7 狭あい道路の拡幅とまちなかの回遊性を高める街路の整備

街並みのイメージ：
駅前通り沿いには商業・公共施設の集積をはかる

街並みのイメージ：
旧国道沿いの住宅整備を推進
（店舗併設型を含む）



駅前・駅前通り周辺エリアの将来ビジョン

(3) 戦略的重点エリア②：旧国道・町民グラウンド周辺エリア

住民の皆様や民間事業者との意見交換を通して、内容を調整しながら実現していきたい将来ビジョンの案です。
内容は変更の可能性があります。

旧国道・町民グラウンド周辺エリア

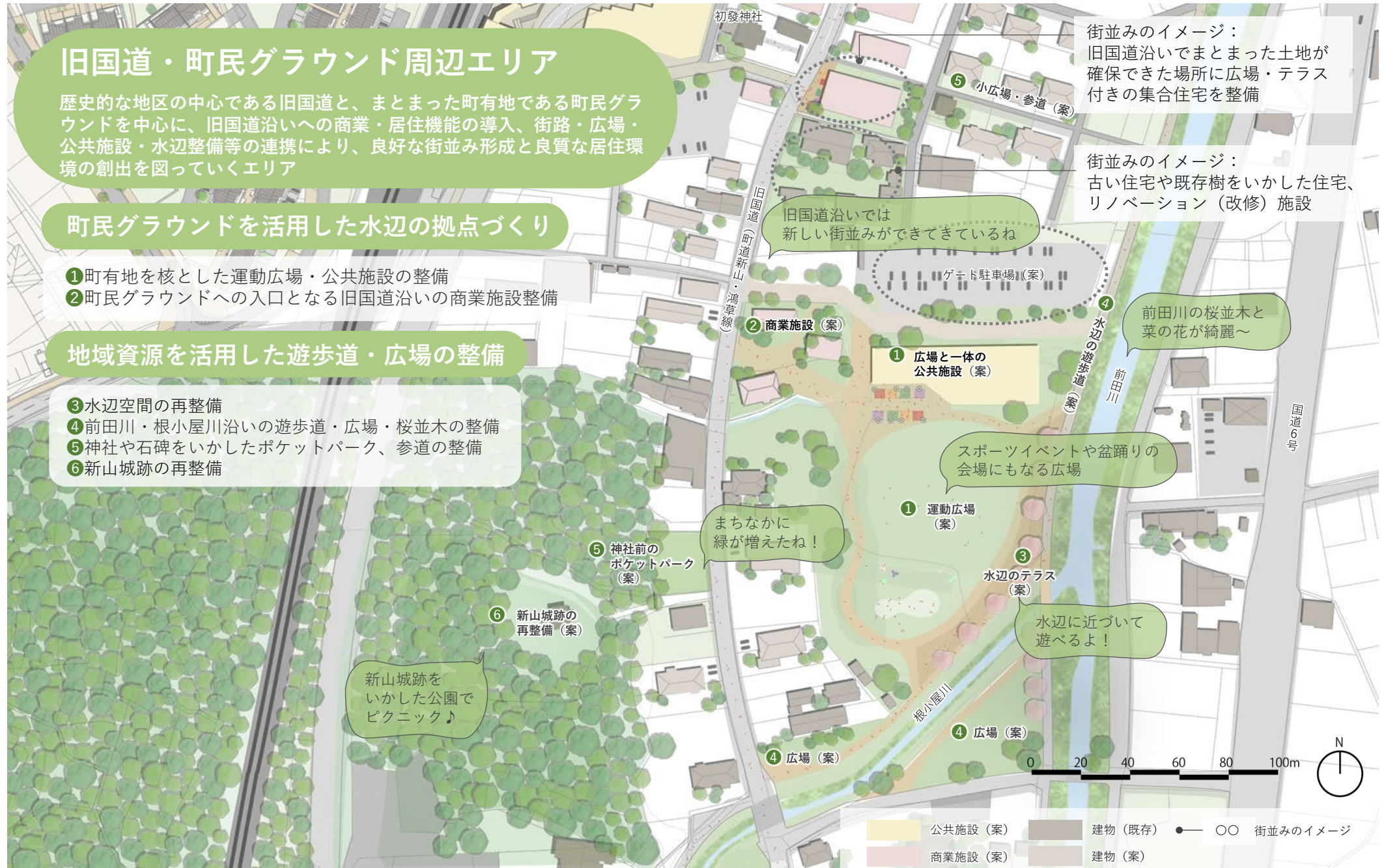
歴史的な地区の中心である旧国道と、まとまった町有地である町民グラウンドを中心に、旧国道沿いへの商業・居住機能の導入、街路・広場・公共施設・水辺整備等の連携により、良好な街並み形成と良質な居住環境の創出を図っていくエリア

町民グラウンドを活用した水辺の拠点づくり

- ① 町有地を核とした運動広場・公共施設の整備
- ② 町民グラウンドへの入口となる旧国道沿いの商業施設整備

地域資源を活用した遊歩道・広場の整備

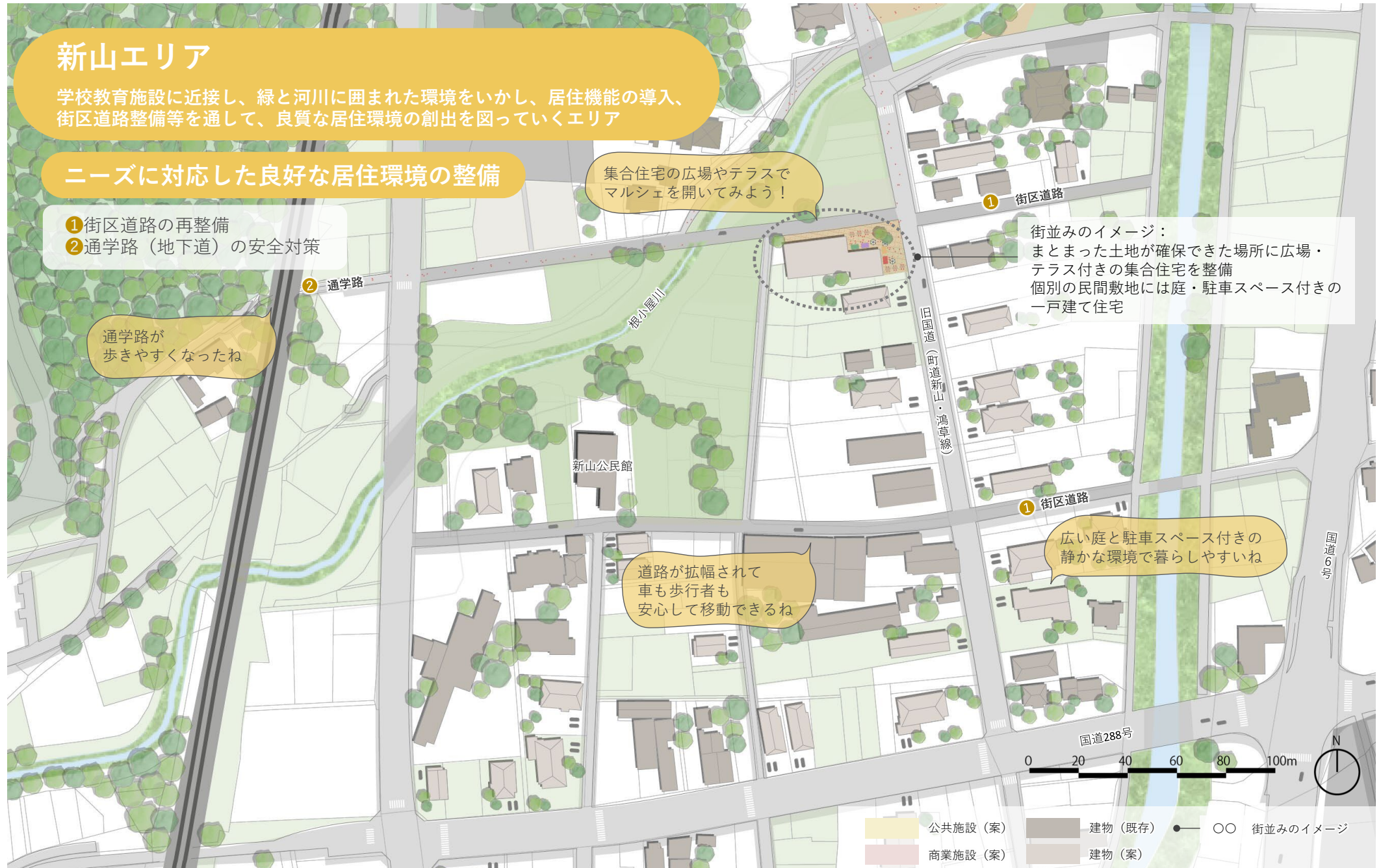
- ③ 水辺空間の再整備
- ④ 前田川・根小屋川沿いの遊歩道・広場・桜並木の整備
- ⑤ 神社や石碑をいかしたポケットパーク、参道の整備
- ⑥ 新山城跡の再整備



旧国道・町民グラウンド周辺エリアの将来ビジョン

(3) 戦略的重点エリア③：新山エリア

住民の皆様や民間事業者との意見交換を通して、内容を調整しながら実現していきたい将来ビジョンの案です。内容は変更の可能性があります。



新山エリアの将来ビジョン

(4) 戦略的重点エリアにおける駅前通りのデザイン方針

(4) -① 駅前通りのデザイン方針 (案)

駅前通り

①歩行者中心の街路空間デザイン

- ・ 車道、歩道、沿道敷地を一体的にデザインし、歩行者中心の歩きやすい通りを形成します。

②沿道建物の1階を街路に開く

- ・ 沿道建物の1階部分を街路に対して開いた設えとし、建物前に滞留スペースを設け、通りのにぎわい形成をはかります。

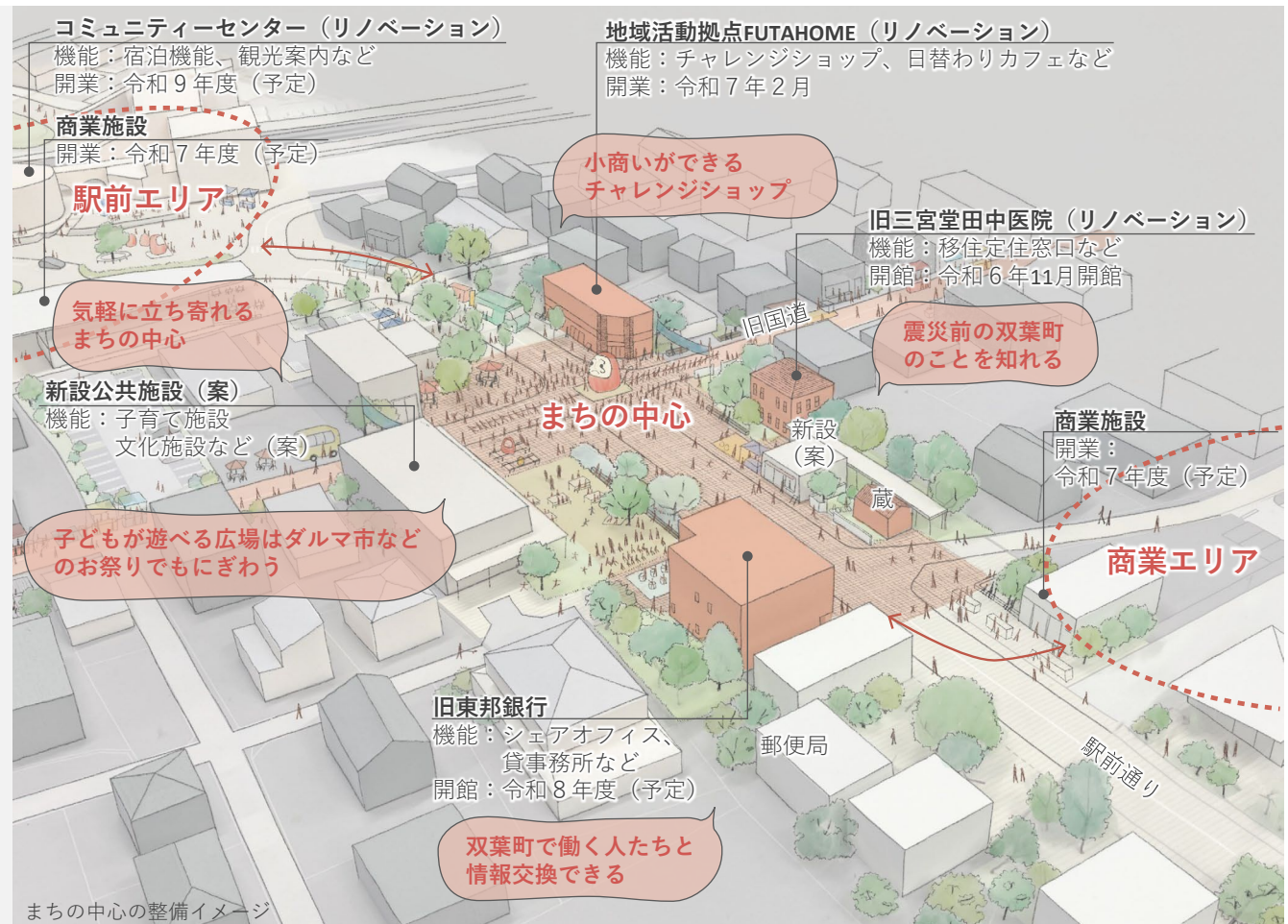
③民間開発の誘導

- ・ 駅前通り周辺の民間開発を誘導することで、密度の高いまちづくりを進めます。

復興の歴史を継承する まちの中心

震災前から経つ建物群（地域活動拠点、旧三宮堂田中医院、旧東邦銀行）に囲まれた、駅前通りと旧国道との交差点を、**震災前からの記憶や歴史を継承し、復興をけん引するまちの中心**と位置づけ、公共・商業機能の充実と合わせて、回遊性の高い空間づくりを進めていきます。

将来：復興の段階により駅前通りに求められる公共機能が変化し、いずれ駅東地区のまちなみの密度が高まっていく中で、震災前の面影を残しつつ復興をけん引した変わらないまちの中心として際立っていきます。



(旧三宮堂田中医院、旧東邦銀行周辺)



① まちの中心を縁取る建物群とイベント等で多目的に使える広場の整備

- まちの中心は、既に計画中の公共施設・民間施設や今後新設を検討する公共施設等の建物を縁で縁取ること、周辺の復興が進むにつれて、変わらないまちの中心として際立つようにしていきます。
- 駅前通り南側の新設公共施設①（案）前に、イベント等で多目的に使える明るく開けた広場を設けることを検討します。

② 交差点部の広場化と通りと施設をつなぐオープンスペースの整備

- 駅前通りと旧国道の交差点部では、舗装改修による広場化と、通りと施設をつなぐオープンスペースの整備をおこなうことで、まちの中心を囲む施設を連携して使えることを目指します。

③ 日常的に訪れたい機能具备了新設公共施設①②の整備

- まちの中心では、施設間が連携して日常生活に必要な機能が揃うことで、住民が日常的に訪れたい場所を目指します。
- 新設公共施設①②には、文化・交流・子育て系の複合的な機能を設けることを検討します。

④ 旧田中医院～蔵周辺における震災前の記憶を継承をおこなう施設運用体制の検討

震災前からの建物である旧田中医院と蔵をいかして、双葉町を訪れた移住希望者や観光客が、震災前の記憶を継承する建物や展示等を見学できる運用体制を検討します。

⑤ 旧東邦銀行と広場の一体的な利用

旧東邦銀行と新設公共施設前の広場をイベント時などに一体的に利用することを検討します。そのために、旧東邦銀行と多目的広場の一体的な設えを検討します。

(4) 戦略的重点エリアにおける駅前通りのデザイン方針

(4) -② 駅前・駅前通り周辺の公共サイン・屋外広告物のデザイン方針（案）

まちづくりや戦略的事業の中で設置する公共サイン

まちなかのサインを一連のデザインとすることで、良好な景観形成や地域資源の活用、観光客や町民の回遊促進に寄与するとともに、町民の景観形成への関心を高め、まちへの愛着や誇り、親しみを醸成する

町の魅力を伝え、まちを訪れた人や住民のアクティビティを誘発するサインを、駅東エリアのデザイン戦略と一体で検討します。

配置 歩行者の目に留まりやすい通りの中央に配置します。

デザイン 町の魅力を伝え、まちを訪れた人や住民のアクティビティを誘発するサインのデザインを検討します。

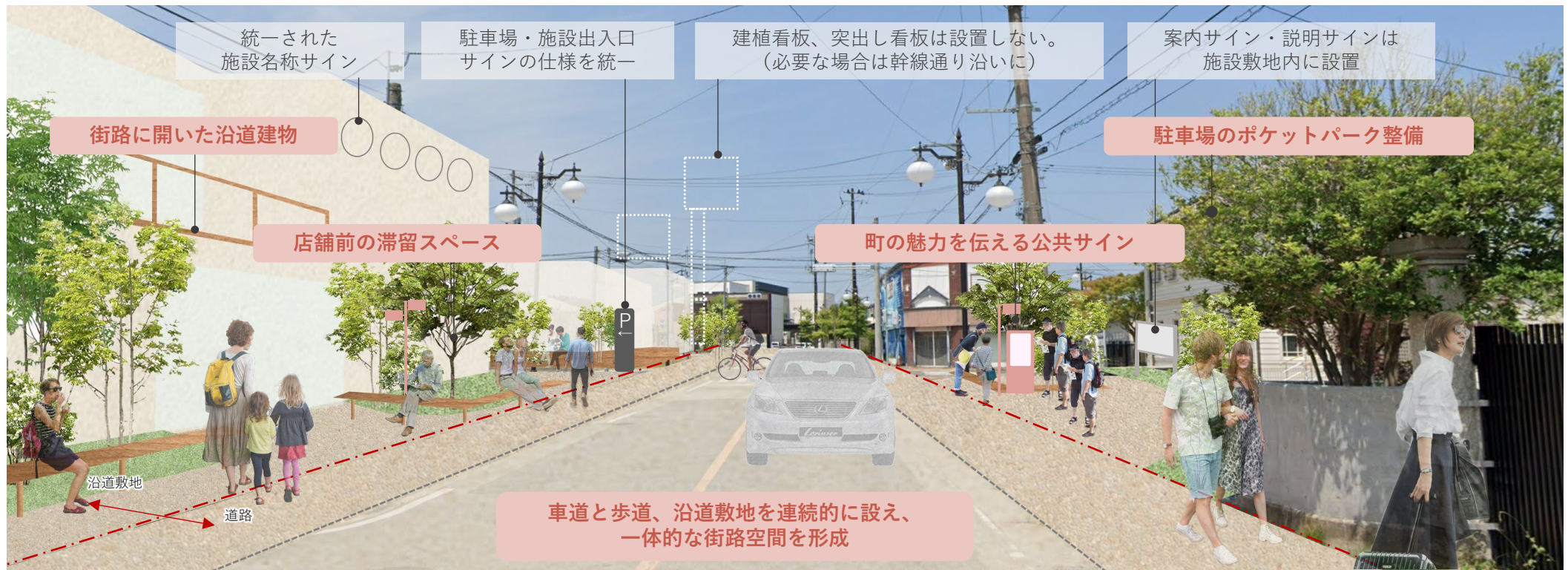
各施設で個別整備される案内サイン・屋外広告物等

各施設の機能をわかりやすく伝える
一部の施設は駅前通りより先行して整備されるため、検討調整の時間が限られる

公共サインを含めた駅前通りのデザインや人のアクティビティを引き立たせる統一された仕様とします。

配置 必要最低限機能のみを沿道に配置し、他の機能については各施設の敷地内または国道6号沿いに配置します。

デザイン 公共サインを引き立たせる落ち着いた形状・色とします。
同じ機能を持つサインの仕様を統一します。



駅前通りにおけるサインの整備イメージ

5

今後に向けて

(1) 駅東地区まちづくり基本構想（素案）に関するヒアリング・アンケートの結果

- 本構想の素案について、町内で働く方を対象とした若手座談会やだるま市での展示等を通して住民の皆さんの意見をお伺いし、その内容を反映して本構想が策定されました。今後の事業化に向けた検討においても、いただいたご意見を踏まえながら進めてまいります。

ダルマ市アンケート

令和7年1月11日（土）12日（日）の「双葉町ダルマ市」において、駅東地区まちづくり基本構想（素案）を展示し、アンケートを実施しました。

- 他自治体の復興で、元の街の形を壊している点を悲しく思っていた。元の形をいかし、必要機能を作っていくまちづくりにとても安心した。
- 震災前に住んでいた方や出身者が町を訪れて集まれるような、安心できるような場所が欲しい。
- 帰還した方、移住した方がどんな暮らしをし、人生を楽しみたいか。その思いに寄り添える施設を整備できるような柔軟性ある計画を期待しています。
- できるだけ時間をかけず、なるべく早く仕上げてほしい。拠点をまず整備し、細部は後からで、時間をかけすぎると戻ってこれなくなるので。
- 歩ける空間をつくってまちのにぎわいを高めようという取り組みは非常に関心がもてました。是非今後も頑張っていたきたいと思います。



双葉町ダルマ市における基本構想（素案）の展示の様子

町の復興部会

令和7年1月7日（火）、3月3日（月）の町の復興部会において、双葉町について意見を有する町民や関係団体の方々から意見や提案をいただきました。

【第1回町の復興部会（令和7年1月7日(火)）】

- 基本方針に双葉町らしさを追加の必要がある。
- 基本構想は、歴史性を双葉町固有の魅力として新しいまちをつくる計画となっていると思う。
- 双葉の人にとって懐かしさを感じる建物も一部残しつつ、新しい部分もある町を目指していけると良い。

【第2回町の復興部会（令和7年3月3日(月)）】

- 双葉町の暮らしや文化を継承する考えを反映頂けたと思う。
- 食文化等のソフトな「双葉町らしさ」についても検討していくことが重要である。
- 今までの双葉町と新しいものを融合させながらまちづくりできるとよい。
- 自然と人が集まり、コミュニティが築かれると良い。



双葉町ダルマ市における基本構想（素案）における意見交換の様子

ちいさな一歩プロジェクトアンケート

令和7年2月20日（木）の「双葉町ちいさな一歩プロジェクト」において、駅東地区まちづくり基本構想（素案）を展示し、アンケートを実施しました。

- 人がいて、なんとなく会話が始まったり、気配を感じられることが重要と思う。
- 町民の活動が"見せられる"空間があるといいと思います。
- オシャレだけじゃない多機能な永続的に活用できる施設を望みます。
- 他の町の整備ではあまりない既存ストックをいかしたまちづくりを進めていただき、PRしてもらえればと思います。



ちいさな一歩プロジェクトにおける基本構想（素案）の展示の様子

町内で働く方を対象とした若手座談会

令和7年2月14日（金）双葉町の若手座談会において、町内で働く若手就業者の方々から意見や提案を頂きました。

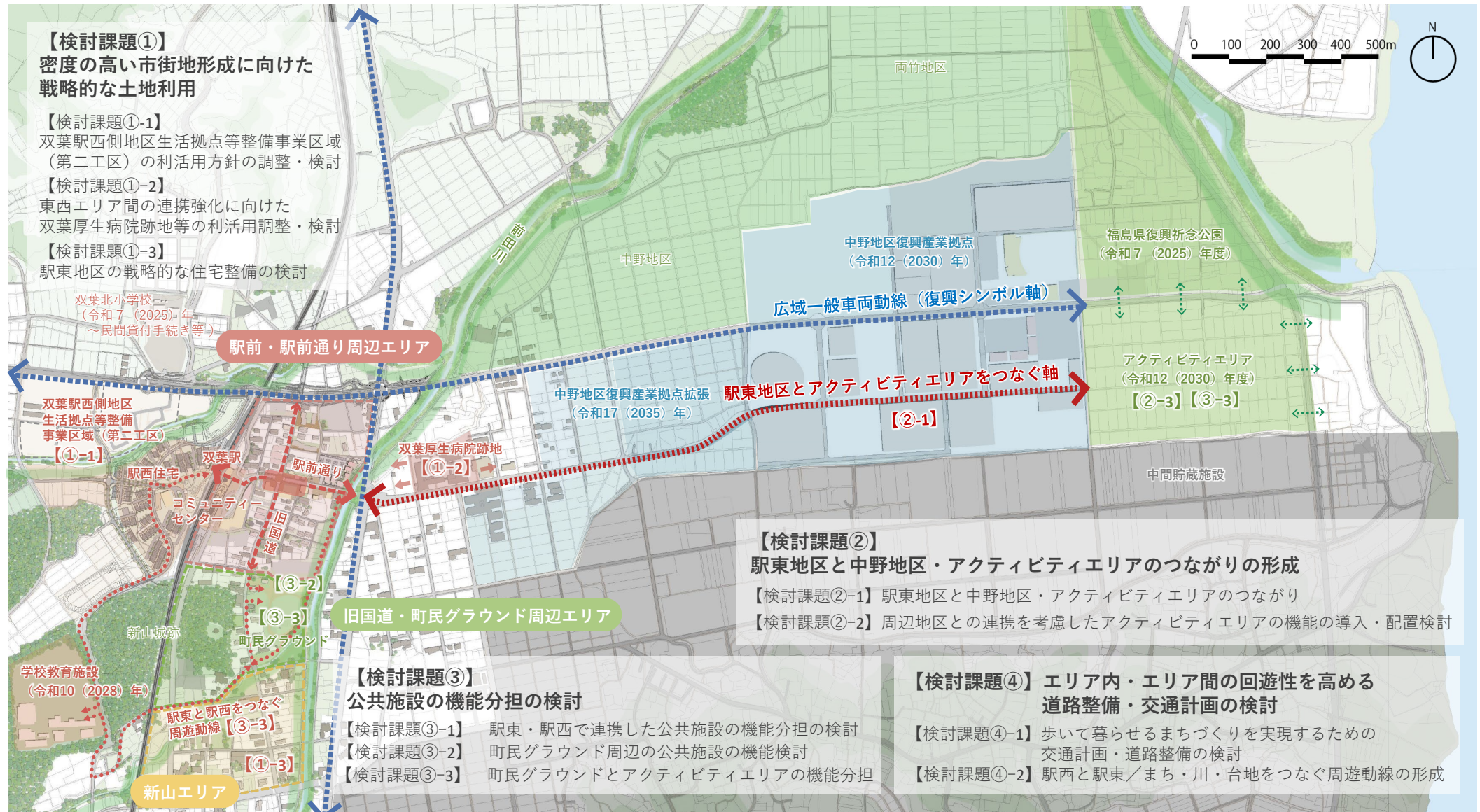
- 双葉町を訪れた人が誰でも立ち寄れる交流の場が欲しい。
- 駅東地区に地区外の行政区の文化も集約整備し双葉町全体の文化が伝わる景観になると良い。
- 限られたスペースに必要なものを整備してほしい。
- すべてを新しくするのではなく、昔の街並みも残していけると良い。
- 震災前には、前田川で灯籠流しをするなど、河川敷を利用して。河川敷を整備してほしい。また、桜並木・葉の花畑のライトアップを復活してほしい。
- 町民グラウンドは、駅東地区でスポーツできるエリアに位置付けてはどうか。また、盆踊り等のイベント時に利用できると良い。開けたスペースとして防災にも活用できると良い。
- 外に開いている店舗空間や気軽に寄れる店、オープンテラス付きのカフェ、食べ歩きできるテイクアウト店舗が商店街のように連なっていると、来てみたくなると思う。
- 新山城本城跡周辺の自然を活かせると良い。
- 学校教育施設の整備と併せて、放課後に子供がいることのできる児童館などが必要である。
- 現況道路は歩車道が分かれていない箇所多いため、自転車レーンの設置等、道路の改修設計を検討してほしい。



町内で働く方を対象とした若手座談会における意見交換の様子

(2) 今後に向けた検討課題

- 駅東地区の周辺では、今後、駅西や中野地区復興産業拠点周辺を中心に復興事業が進んでいく予定です。
- 事業の進捗状況を踏まえ、駅西と連携した密度の高い市街地形成、中野地区復興産業拠点との連携の強化、駅東地区における復興の各段階のニーズに対応した歩いて暮らせるまちづくりの実現などに向けて、以下のような課題を継続して検討していく必要があります。



今後に向けた検討課題

(3) 優先して事業化すべき整備項目の実現化方策の整理

■実現化方策の整理の考え方

- 駅東地区のデザイン戦略で提案されている各事業について、福島再生加速化交付金を利用可能な面的整備事業で整備するパターン（パターン①）、および点的・線的な個別事業の組合せで整備するパターン（パターン②）を整理しました。

（※立地適正化計画や都市再生整備計画の策定を前提としない）

- 今後は令和7年度実施予定の土地活用意向調査をもとに、より詳細な実現化方策（事業手法）の検討を進めていきます。

■駅東地区デザイン戦略の実現化方策の例

パターン①：面的手法で一体的に事業を推進する

エリア	戦略的施策	具体的事業	パターン①面的手法で一体的に事業を推進する		
			拠点整備		街区単位整備（小規模）
駅前・駅前通り 周辺エリア	駅前通り周辺の まちの拠点づくり	①駅前通りを 歩行者中心の街路へ再整備	福島復興再生拠点整備事業 （一団地の復興再生拠点市街地形成施設） * 駅西エリア（24ha）の連鎖する拡張エリア	or	・既存ストック活用まちづくり支援（ランドバンク事業） ・小規模連鎖型区画再編事業
		②駅前通りに開いた 公共施設・滞留空間の整備			
		③旧三宮堂田中医院前の ポケットパーク整備			
		④子育て・文化交流の拠点となる 公共施設整備			
		⑤旧国道の修景整備			
	駐車場の再建と 区画道路の再整備	⑥まちなか駐車場・ ゲート駐車場の整備			
		⑦狭あい道路の拡幅・小道の整備			
町民グラウンド・ 旧国道・ 周辺エリア	町民グラウンドを 活用した 水辺の拠点づくり	①運動広場・公共施設の整備	福島復興再生拠点整備事業 （一団地の復興再生拠点市街地形成施設） * 駅西エリア（24ha）の連鎖する拡張エリア	or	・既存ストック活用まちづくり支援（ランドバンク事業）
		②旧国道沿いの商業施設整備			
	地域資源を 活用した 遊歩道・広場整備	③水辺空間の再整備			
		④前田川等沿いの 遊歩道・広場・桜並木の整備			
		⑤歴史資源をいかした ポケットパーク・参道整備			
		⑥新城跡の再整備			
新山エリア	ニーズに対応した 居住環境創出	①街区道路の再整備	福島復興再生拠点整備事業 （一団地の復興再生拠点市街地形成施設） * 駅西エリア（24ha）の連鎖する拡張エリア	or	・既存ストック活用まちづくり支援（ランドバンク事業） ・小規模連鎖型区画再編事業
		②通学路の安全対策			
		③住宅地整備（公的住宅）			・既存ストック活用まちづくり支援（ランドバンク事業） ・小規模連鎖型区画再編事業
		④住宅地整備（民間住宅）			

パターン①（面的手法で一体的に事業を推進する）における実現化方策の整理

(3) 優先して事業化すべき整備項目の実現化方策の整理

■駅東地区デザイン戦略の実現化方策の例

パターン②：点的・線的手法により個別に事業を推進する

エリア	戦略的施策	具体的事業	パターン② 点的・面的手法により個別に事業を推進する			
			福島再生加速化交付金を活用した点的手法		福島再生加速化交付金を活用した線的手法	
			交付金等	想定事業	交付金等	想定事業
駅前・駅前通り周辺エリア	駅前通り周辺のまちの拠点づくり	①駅前通りを歩行者中心の街路へ整備			福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備）	・都市防災推進事業（復興のため公共施設等整備：高質空間形成） ・道路事業（面的整備と一体的）
		②駅前通りに開いた公共施設・滞留空間の整備	福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興のため公共施設等整備：高質空間形成） ・公的施設の整備		
		③旧三宮堂田中医院前のポケットパーク整備	福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備		
		④子育て・文化交流の拠点となる公共施設の整備	福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備）	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備：復興まちづくり支援施設・公共施設整備） ・子育て支援のための拠点施設整備事業		
		⑤旧国道の修景整備			福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備）	・都市防災推進事業 ・道路事業（面的整備と一体的）
	駐車場の再編と区画道路の再整備	⑥まちなか駐車場・ゲート駐車場の整備	福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備		
		⑦狭あい道路の拡幅・小道整備			福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備
旧国道・町民グラウンド周辺エリア	町民グラウンドを活用した水辺の拠点づくり	①運動広場・公共施設の整備	福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備		
		③旧国道沿いの商業施設整備	自立・帰還支援 雇用創出企業立地補助金	・製造・サービス業等立地支援事業 ・地域経済効果立地支援事業		
		④水辺空間の再整備			福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備
	地域資源を活用した遊歩道・広場整備	⑤前田川等沿いの遊歩道・広場・桜並木の整備			福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備
		⑥歴史資源をいかしたポケットパーク・参道整備			福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備
		⑦新山城跡の再整備	福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備） 既存ストック活用まちづくり支援	・都市公園事業（帰還環境整備事業計画の位置づけ） ・公的施設の整備		
新山エリア	ニーズに対応した居住環境創出	①街区道路の再整備			帰還・移住等環境整備 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備
		②通学路の安全対策			帰還・移住等環境整備 既存ストック活用まちづくり支援	・都市防災推進事業（復興まちづくり施設整備） ・公的施設の整備
		③住宅地整備（公的住宅）	福島再生加速化交付金（帰還・移住等環境整備）	・福島再生賃貸住宅整備事業		
		④住宅地整備（民間住宅）				

パターン②（点的・線的手法により個別に事業を推進する）における実現化方策の整理

(4) 一①事業スケジュール (案)

● 開業・完成時期（復興ロードマップ）
● 開業・完成時期（案）

..... 事業間の関連性

[illegible]

事業スケジュール

(4) 今後のスケジュール

(4) ー②計画検討スケジュール

次年度以降の検討は、個別事業の事業化に向けた土地活用意向調査および、事業化検討・デザイン検討・調整業務を行います。

年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
計画	駅東地区まちづくり 基本構想の策定		
事業化準備		土地活用意向調査 ・土地活用意向調査の準備 ・土地活用意向調査の実施 ・土地活用意向調査の集計 ・土地活用意向調査の図化	
事業化		戦略的重点エリアの事業化検討 駅前・駅前通り周辺エリア ウォーカブルなエリア形成に向けた交通計画パターン検討（駐車場等含）／公共施設・機能の配置・複合化計画／沿道の商業・業務・居住機能の誘導・配置計画／駅前通り再整備／ポケットパーク整備／上記検討に対する事業手法の適用検証等 旧国道・町民グラウンド周辺エリア ウォーカブルなエリア形成に向けた交通計画パターン検討（駐車場等含）公共施設・機能の配置・複合化計画／沿道の商業・居住機能の誘導・配置計画／旧国道再整備／ポケットパーク整備／水辺整備／上記検討に対する事業手法の適用検証等 新山エリア 交通計画パターン検討／居住機能の誘導・配置計画／通学路等の安全対策検討／街区道路再整備／ポケットパーク整備／水辺整備／上記検討に対する事業手法の適用検証等	用地取得
設計		戦略的重点エリアのデザイン検討・調整 駅前・駅前通り周辺エリア 駅前通りデザイン検討／ポケットパークデザイン検討／公共施設デザイン検討／公共施設・民間施設の公共サイン・屋外広告物デザイン監修・調整 等 旧国道・町民グラウンド周辺エリア 旧国道デザイン検討／ポケットパークデザイン検討／公共施設デザイン検討／水辺デザイン検討／公共施設・民間施設の公共サイン・屋外広告物デザイン監修・調整等 新山エリア ポケットパークデザイン検討／公共施設デザイン検討※／水辺デザイン検討 等	基本・実施設計

付録

住民意向の把握

- | | |
|--------------|---------------------|
| 令和7年1月11、12日 | ： 双葉町ダルマ市 |
| 2月20日 | ： 双葉町ちいさな一歩プロジェクト |
| 2月14日 | ： 町内で働く方を対象とした若手座談会 |
| 1月7日、3月3日 | ： 町の復興部会 |

(1) 双葉町ダルマ市におけるアンケート 実施概要

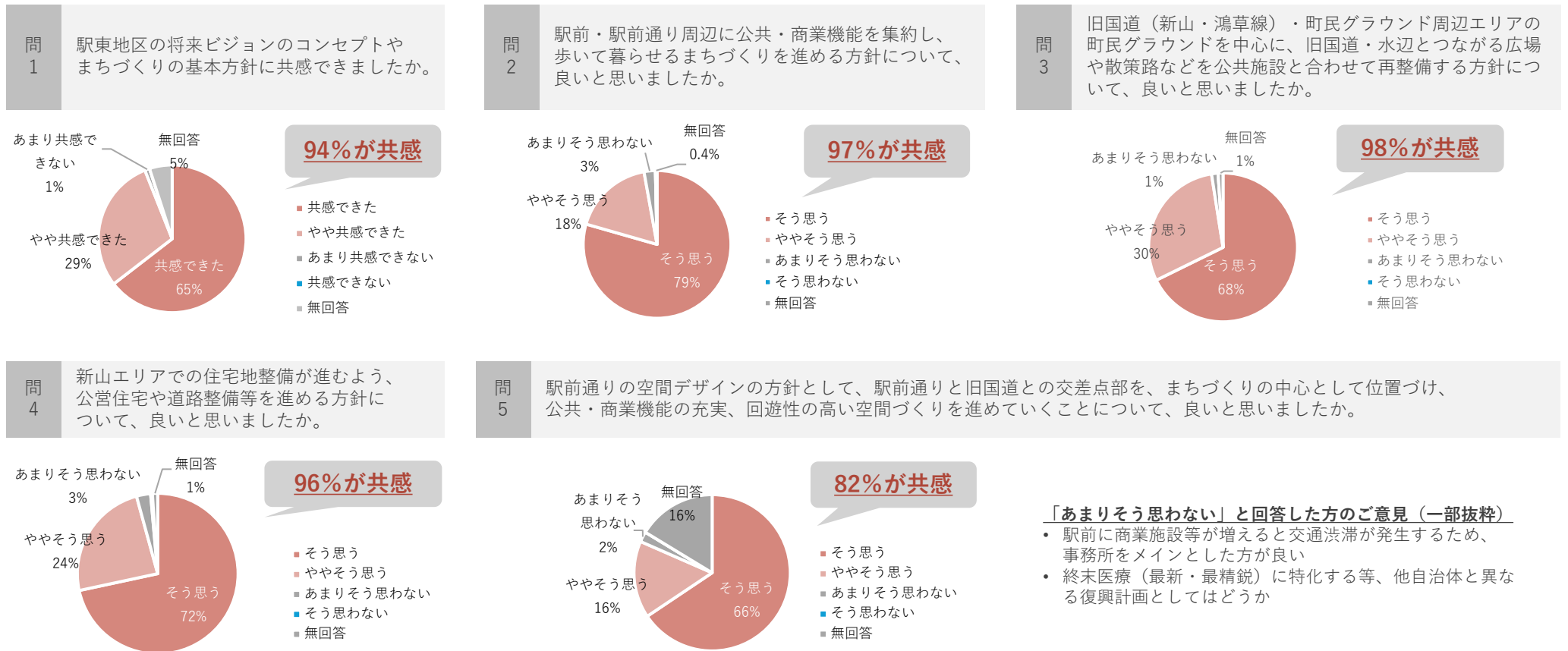
(1) ー①実施概要

- 令和7年1月11日（土）、12日（日）の「双葉町ダルマ市」において、駅東地区まちづくり基本構想（素案）を展示し、双葉町が進める復興まちづくりを周知しました。
- 展示ブースでは、町民目線の多様な意見を収集するため、パネルや模型を使って構想について説明し、アンケート調査を実施しました。
- その結果、**2日間で282人の方（男性7割、女性3割）にご回答いただき、20代～60代がそれぞれ20%前後と、多様な年代の方から回答を頂きました。**回答者の現在の住まいは、9割強が町外の方でした。
- 基本構想のコンセプトやまちづくり方針について、概ね共感いただきました。**
- 自由記述では、98人から応援や意見が寄せられました。**



ダルマ市（令和7年1月11日（土）、12日（日））における基本構想展示の様子

(1) ー②アンケート結果概要



問
6

模型で示した施設以外に、帰還・移住した住民が暮らしやすくなるには、駅前通りにどのような機能（公共サービス・施設）があると良いと思いますか。

表 駅前通りに欲しい機能の回答・回答割合

施設用途	個数	割合
文化施設	7	15%
教育施設	5	11%
医療施設	4	9%
福祉施設	4	9%
個人住宅・集合住宅（低層）	3	6%
体育施設	3	6%
特殊行政施設	3	6%
流通施設	3	6%
集合住宅（高層）	2	4%
一般行政施設	1	2%
寄宿舍・寮	1	2%
交通施設	1	2%
試験・研究施設	1	2%
事務施設	1	2%
宗教施設	1	2%
集合住宅（中層）	1	2%
宿泊施設	1	2%
商業施設	1	2%
情報通信施設	1	2%
他の産業施設	1	2%
総計	47	100%

※PBA公共建築協会「施設用途分類表」に基づき分類

記載された施設で多かったのは
文化施設と教育施設

- ・子どもの居座れる・遊べる施設
- ・交流拠点（気軽に立ち寄れる場所）
- ・地元の魅力をいかした施設

「社会教育・研修施設」の詳細意見（要約）

- ・子育ての人のコミュニティの場
- ・市民の活動をスモールビジネスとして実施できる場
- ・若者が集える施設

文化施設 小分類回答割合

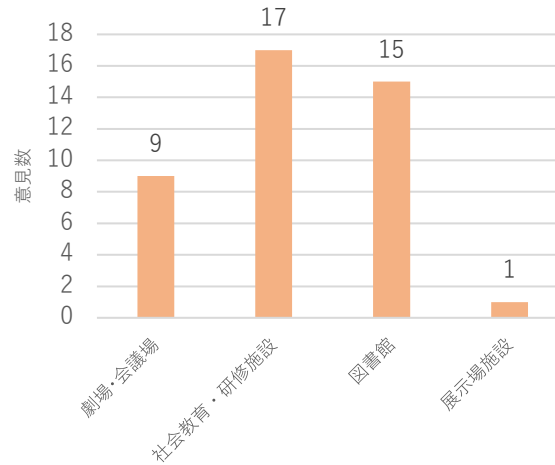


図 文化施設を求める意見の小分類

教育施設 小分類回答割合

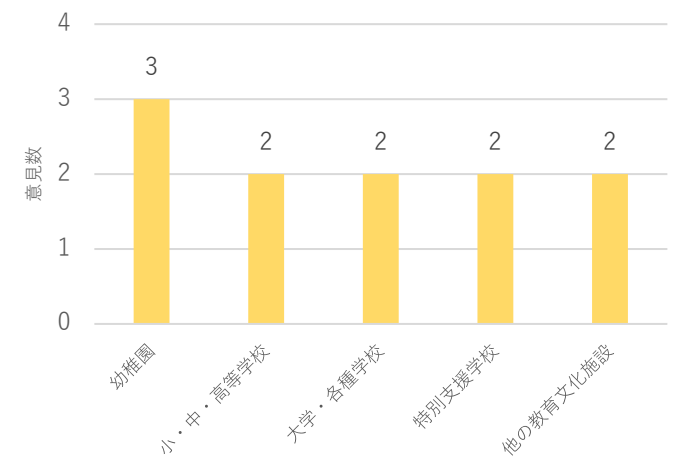
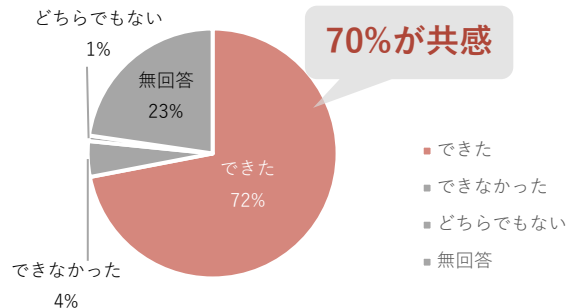


図 教育施設を求める意見の小分類

問
7

駅東地区まちづくり基本構想（素案）で掲げる将来のまちの姿がイメージできましたか。



「できなかった」と回答した方のご意見（一部抜粋）

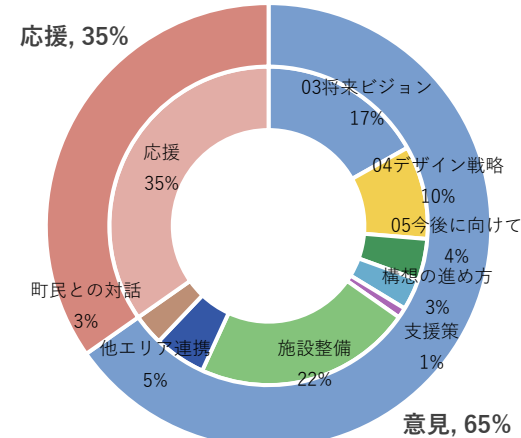
- ・どの層が住みやすい街になるかわかりにくかった
- ・町の花である桜並木（前田川河畔）を整備してほしい

問
8

その他、意見・感想などございましたら、ご自由に記述ください。

応援の回答（一部抜粋）

- ・歩ける空間をつくってまちのにぎわいを高めようという取り組みは非常に興味がありました。是非今後も頑張ってくださいと思います。（20代男性、町外在住会社員）
- ・基本方針③「愛着と誇り」すごく共感！人と人の繋がりがここにあることが大事ですね！（20代女性、町外在住会社員）
- ・将来が栄えるのを楽しみにしています。（40代女性、町外在住会社員）



意見の回答（一部抜粋）

- ・人が話し合える仕組みなどがあると思います。（50代女性、町外在住無職）
- ・完成後の全体の景観が広がって見えるようなものになれば、よりよいと思いました。（30代男性、町外在住公務員）
- ・どの層が住みやすい街を目指しているかわかりにくかった。（30代男性、町外在住会社員）
- ☞若者・子育て世代等のニーズに応じた多様な世代をターゲットに設定
- ☞ソフトも含めた官民協働のまちづくりの推進により独自の文化を創出し、官民協働の推進に向け、まちづくりの軸となるプレイヤーの発掘・育成が重要

(2) 双葉町ちいさな一歩プロジェクトにおけるアンケート 実施概要

(2) -①実施概要

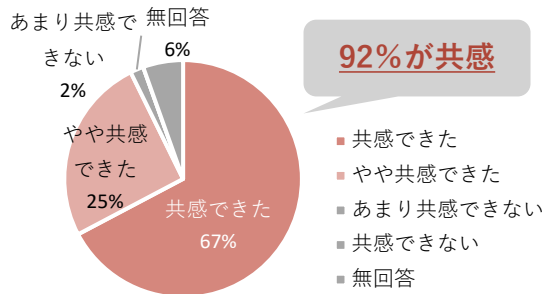
- 令和7年2月20日（木）の「双葉町ちいさな一歩プロジェクト」において、駅東地区まちづくり基本構想（素案）を展示・周知しました。
- 展示ブースでは、町民目線の多様な意見を収集するため、パネルや模型を使って構想について説明し、アンケート調査を実施しました。
- その結果、**55人の方（男性8割、女性2割）にご回答いただき、20代 14%、30代 33%、40代 18%、50代 31%、60代 4%**と多様な年代の方から回答を頂きました。
- 回答者の現在の住まいは、**2割強が町内、8割弱が町外の方**でした。
- 基本構想のコンセプトやまちづくり方針について、概ね共感いただけました。**
- 自由記述では、23件の応援や意見が寄せられました。**



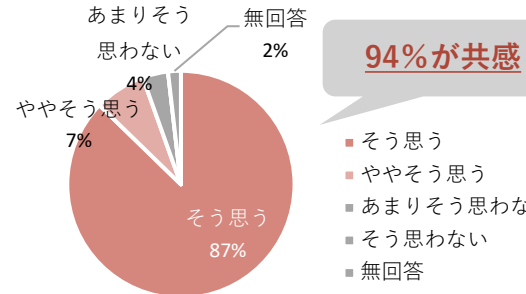
ちいさな一歩プロジェクト（令和7年2月20日（木））における基本構想展示の様子

(2) -②アンケート結果概要

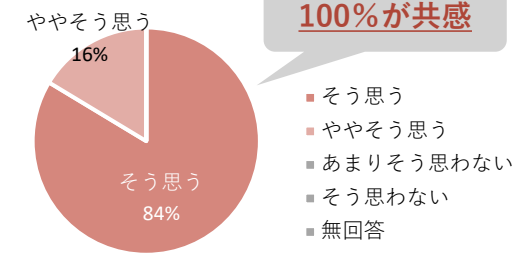
問 1 駅東地区の将来ビジョンのコンセプトやまちづくりの基本方針に共感できましたか。



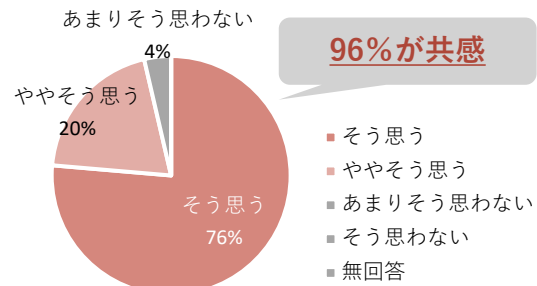
問 2 駅前・駅前通り周辺に公共・商業機能を集約し、歩いて暮らせるまちづくりを進める方針について、良いと思いましたか。



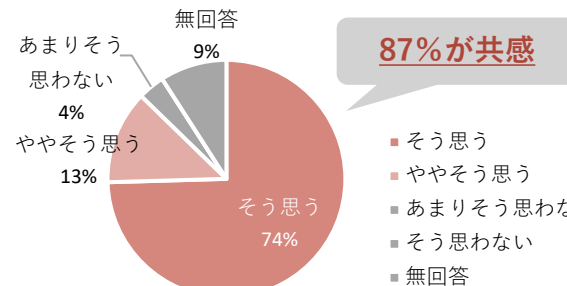
問 3 旧国道（新山・鴻草線）・町民グラウンド周辺エリアの町民グラウンドを中心に、旧国道・水辺とつながる広場や散策路などを公共施設と合わせて再整備する方針について、良いと思いましたか。



問 4 新山エリアでの住宅地整備が進むよう、公営住宅や道路整備等を進める方針について、良いと思いましたか。



問 5 駅前通りの空間デザインの方針として、駅前通りと旧国道との交差点部を、まちづくりの中心として位置づけ、公共・商業機能の充実、回遊性の高い空間づくりを進めていくことについて、良いと思いましたか。



「あまりそう思わない」と回答した方のご意見

- 駅前通りに喫茶店や飲食店などゆっくり時間を費やせる場所（イートインタイプではない）が欲しい
- 床屋が欲しい

問
6

模型で示した施設以外に、帰還・移住した住民が暮らしやすくなるには、駅前通りにどのような機能（公共サービス・施設）があると良いと思いますか。

表 駅前通りに欲しい機能の回答・回答割合

施設用途	個数	割合
商業施設	25	42%
文化施設	15	25%
医療施設	4	7%
教育施設	4	7%
体育施設	4	7%
福祉施設	4	7%
交通施設	3	5%
事務施設	1	2%
総計	60	100%

※PBA公共建築協会「施設用途分類表」に基づき分類

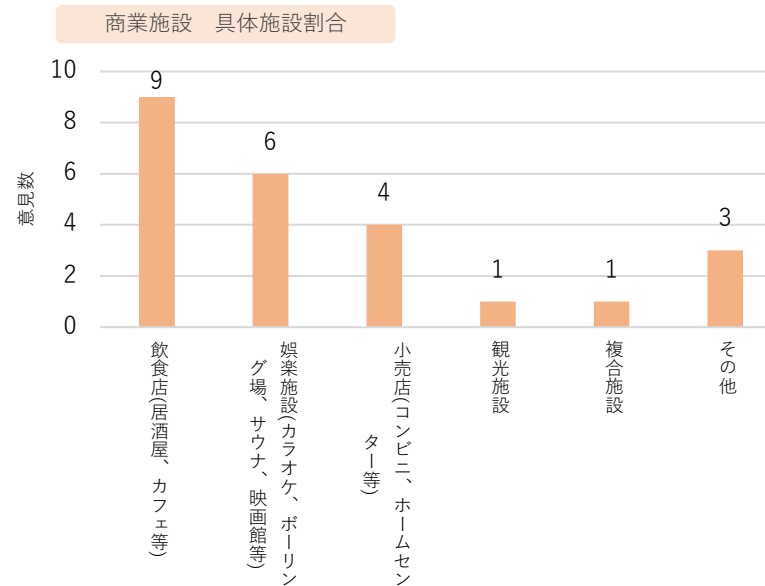


図 商業施設を求める意見の具体施設

文化施設 小分類回答割合

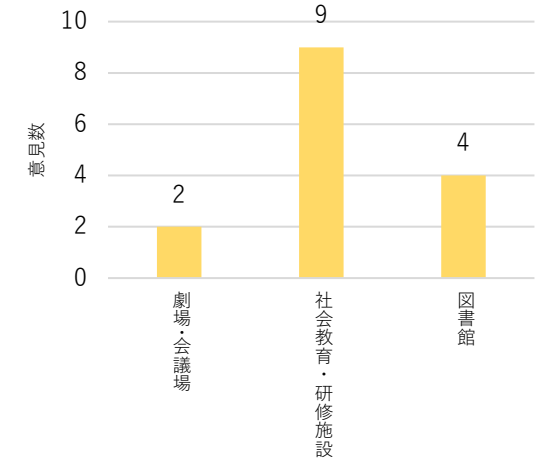
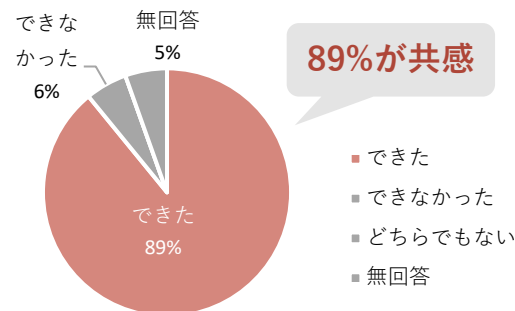


図 文化施設を求める意見の小分類

問
7

駅東地区まちづくり基本構想（素案）で掲げる将来のまちの姿がイメージできましたか。



「できなかった」と回答した方のご意見

- 駅舎から離れた位置に駅前広場機能を移して徒歩空間を広げたほうが歩いて暮らせるまちの使い方が根付く
- 駅から徒歩5～10分ほどの距離に住宅を置き、その間にサービス施設を並べて配置するべき。

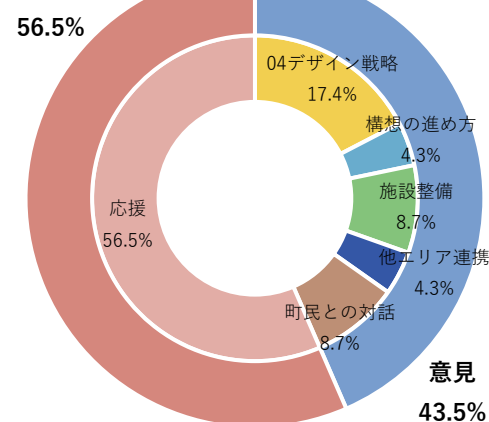
問
8

その他、意見・感想などございましたら、ご自由に記述ください。

応援の回答（一部抜粋）

- これからどんどん発展していくと思います。楽しみにしています。（50代男性、町外在住会社員）
- 双葉町のにぎわう姿、楽しみにしています！（20代女性、町外在住会社員）
- これからの新しい双葉町に期待しております！（40代男性、町外在住会社員）
- 少しずつ前へすすんでいけばと思います。ありがとうございます。（50代、町内在住無職）

応援



意見の回答（一部抜粋）

- 空間の何か所かに目的とする場所があると良い（50代男性、町内在住会社員）
 - 元の道の線形を大きく変えるエリアがあってもいいが基本変えない方がいい。建物が変化しても、道の昔の双葉町の街並みが残ると良い。（40代女性、町外在住）
 - 空き地をどう積極的に活用するかが難しいと思った。（50代男性、町外在住会社員）
 - 子供が受診できる医療機関、子供の遊び場が欲しい（30代男性、町外在住公務員）
- 旧東邦銀行西側に多目的広場・子育て支援機能を導入した公共施設を提案

(3) 町内で働く方を対象とした若手座談会 実施概要

- 令和7年2月14日（木）に開催された、双葉町「若手座談会」において、町内で働く若手就業者の方々から駅東地区まちづくり基本構想（素案）へ意見や提案を頂きました。
- 若手座談会では、駅東地区のまちづくりに関する3つのテーマについて2班（A班・B班）に分かれてワークショップしました。
- 以下にワークショップで出た主要意見を示します。



若手座談会（令和7年2月14日（木））の様子

テーマ1 未来の駅東地区は、どんなまち、こんな場所があったら、行きたい、住んでみたいと思いますか？

【A班】

- 駅・駅前通り沿道や旧国道等の中心部に商店、飲食店（ビアガーデン）、娯楽施設（カラオケ、ダーツ）等があると、賑わいが生まれると思う。
- 現況道路は歩道が分かれていない箇所多いため、自転車レーンの設置等、道路の改修設計を検討してほしい。
- 夜も安全・安心して歩ける道や夜も出歩ける仕掛けが必要である。
- 学校教育施設の整備と併せて、放課後に子供が居ることのできる児童館等が必要である。

【B班】

- 双葉町を訪れた人が誰でも立ち寄れる交流の場が欲しい。
- ウォーカブルなまちを実現するためには、目の届く範囲に魅力や楽しみがあることが重要と思う。
- 高齢者や子ども、子育て世帯にとって、公園やベンチが必要である。
- 町民グラウンドでは、震災前は盆踊りを開催していた。そういったイベントが開催できるように整備してほしい。
- ウォーカブルな交流空間と居住空間は分けた方がいい。

テーマ2 駅前通り沿道エリアには、どんな空間、どんな機能（施設）があったら、にぎわいや活気が生まれると思いますか？

【A班】

- 駐車場を周辺に配置して歩いてもらうためには、歩きやすい道路の整備もセットで必要と思う。
- 他の施設と複合されている方が使いやすい（プラネタリウム、カフェ、小型遊具スペース、児童館、子供を預けられる所等）。

【B班】

- 人口や需要に合わせて拡張の可能性があるのであれば、その際に拡張可能な余白空間としてもオープンスペースがあると良い。
- 統一感あるまち並みになるようにサイン等のコンセプトを打ち出してはどうか。
- 店が密集していると見えないため、各建物の間隔を開けたほうが良い。

テーマ3 町民グラウンド周辺・新山エリアは、どんな環境で、どんな住宅を整備すると、住んでみたいと思いますか？

【A班】

- 全天候型の運動場等もあると良いが、周辺市町村施設とすみ分けして、限られたスペースに必要なものを整備してほしい。
- 新山エリアの住宅地には、大きな公園を整備して欲しい。新山城本城跡周辺の自然を活かせると良い。

【B班】

- 自然を感じる子供の自由な遊び場として活用できると良い。
- 昔ながらの解体されていない建物やまちなみについて質問されることがある。そういった形で興味をもってくれる方もいるため、すべてを新しくするのではなく、昔の街並みも残していけると良い。

(4) 町の復興部会 実施概要

- 令和7年1月7日（火）、3月3日（月）に開催された「双葉町町民委員会 町の復興部会」において、双葉町について識見を有する町民や関係団体の方々から駅東地区まちづくり基本構想（素案）について、意見や助言を頂きました。
- 以下に会議で出た主要意見を示します。



町の復興部会（令和7年1月7日（火）、3月3日（月））の様子

【第1回】

- 基本構想（素案）のコンセプトは、現代のどの地方自治体にも当てはまる課題及び対応方針となっている。基本方針に双葉町らしさを追加する必要がある。
- 基本構想は、歴史性を双葉町固有の魅力として新しいまちをつくる計画となっている。
- 復興のファーストステップとして本構想を発信する上で、独自の魅力があると目を引くと思う。小さなまちならではの魅力として、ウォーカブルなまちで「歩く」+「楽しい」こと、歩いて人が関わり合い、交流が生まれることがあると思う。
- 子どもの遊び場が駅西にあると良い。駅前通りの角も子どもの遊び場が良いと思う。

【第2回】

- 双葉町の暮らしや文化を継承する考えを反映頂けたと思う。昔ながらの部分を残しつつ、双葉町ならではのブランディングやコンテンツを築いていくことが必要と思う。
- 食文化等のソフトな「双葉町らしさ」についても検討していくことが重要である。梅の漬物や茶饅頭等の郷土食・食文化を継承していけると良い。
- 今までの双葉町と新しいものを融合させながらまちづくりできるとよい。
- 自然と人が集まり、コミュニティが築かれると良い。